



支部だより

第 73 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2012.05.23

目次

・2012年度（平成24年度）の始まりにあたって	1
・2012年度（平成24年度）中部支部総会のお知らせ	2
・議案(1)：2011年度（平成23年度）中部支部事業報告	2
・議案(2)：2011年度（平成23年度）中部支部会計報告	3
・議案(3)：2011年度（平成23年度）中部支部会計監査報告	5
・議案(4)：2012年度（平成24年度）中部支部事業計画案	5
・議案(5)：2012年度（平成24年度）中部支部予算案	6
・中部支部第19期役員の補充	8
・中部支部第20期役員選挙のお知らせ	8
・第17回公開気象講座のお知らせ	9
・平成24年度支部研究会のお知らせ	10
・2011年度気象学会秋季全国大会(名古屋)の報告	10

◆ 2012年度（平成24年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 神田 豊

5月10日に開催された本年度第一回の日本気象学会中部支部理事会において、人事異動に伴う役員の補充に関する提案が承認され、支部長を仰せつかりました。皆様からご支援ご協力をいただきながら、中部支部の発展のために微力ではありますが最善を尽くしたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

2011年度は大雨、暴風、大雪等による大きな災害が数多く発生しました。気象学をはじめとした様々な研究の成果により、顕著現象の解明はかなり進んできているところですが、場所や時間帯を特定して予測するためにはまだ多くの課題があり、速やかな避難行動に結びつく情報としては不十分な状況です。また、関係行政機関によるこれまで積み上げてきた防災対策により被害を未然に防ぐことができた面もありますが、依然として人的被害をゼロにできてはならず、住民一人一人の防災意識の向上が必要で、そのためには周知・広報や防災教育のさらなる強化が求められています。

中部支部管内の地形は複雑なため、これまで多種多様な顕著現象が数多く発生しており、調査・研究の対象も豊富です。一方、全国的にも夏の高温が目立つ地域であることもあり、エネルギーや地球温暖化などの問題に関しても、目先にとらわれず継続的に対策を検討す

る必要性があります。当支部に所属されている会員の方々は各分野でご活躍されていることから、これらに関する研究や教育などの連携した活動の成果は、社会に広く貢献できる可能性を秘めています。そのためには、中部支部としても積極的に地域との接点を設けていきたいと考えています。

2011年度は、気象学会秋季全国大会の名古屋市での開催を成し遂げることができました。会員の方々の献身的なご努力に感謝するとともに、今年度も活発な支部活動を期待しています。どうぞよろしく申し上げます。

◆ 2012年度（平成24年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時 2012年（平成24年）7月24日（火）16時00分から
2. 場所 名古屋地方気象台 会議室
3. 総会次第
 - 1) 開会の辞
 - 2) 支部長挨拶
 - 3) 議長選出
 - 4) 委任状及び出席者報告
 - 5) 議案
 - (1) 2011年度（平成23年度）中部支部事業報告
 - (2) 2011年度（平成23年度）中部支部会計報告
 - (3) 2011年度（平成23年度）中部支部会計監査報告
 - (4) 2012年度（平成24年度）中部支部事業計画案
 - (5) 2012年度（平成24年度）中部支部予算案議案の番号は総会参加票に示された番号です。
議案の詳細は以下に示します。

◆ 議案

議案（1）2011年度（平成23年度）中部支部事業報告

- 4月22日 名古屋大学地球水循環研究センター会議室において、第2回2011年度日本気象学会秋季全国大会実行委員会を開催しました。
- 5月12日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部常任理事会を開催しました。
- 5月20日 支部だより第72号を発行しました。高瀬支部長の挨拶、総会のお知らせ、議案、第19期役員の新補充、2011年度日本気象学会秋季大会開催のお知らせ、公開気象講座と支部研究会開催中止のお知らせなどを掲載しました。
- 6月27日 名古屋大学地球水循環研究センター会議室において、第3回2011年度気象学会秋季全国大会実行委員会を開催しました。
- 7月22日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催しました。
- 8月17日 名古屋市内（Café & Perms）において第2回気象サイエンスカフェ in 名古屋を開催しました。スピーカーに川崎浩司氏（名古屋大学大学院工学研究科准教授）を迎え、「津波と防災」というテーマで開催しました。参加者は47名でした。

- 10月3日 名古屋大学地球水循環研究センター会議室において、第4回2011年度気象学会秋季全国大会実行委員会を開催しました。
- 11月6日 金沢市内まめや金澤萬久本店において、第1回気象サイエンスカフェ北陸 in 金沢を開催しました。スピーカーに皆巳幸也氏（石川県立大学生物資源環境学部准教授）を迎え、「金沢が雪の降らない街になる！？～石川県で“温暖化”を考える～」というテーマで開催しました。参加者は20名でした。
- 11月16日～18日 名古屋大学において2011年度気象学会秋季全国大会を開催しました。参加者は859名（公開講座のみの参加者と会場スタッフを除く）。発表件数は501件でした。
- 12月19日 名古屋大学地球水循環研究センター会議室において、2011年度気象学会秋季全国大会の報告会を開催しました。引き継ぎ文書を作成し、大会企画委員と次期秋季大会担当の北海道支部に送付しました。
- 2月8日 名古屋市内 7th caféにおいて第3回気象サイエンスカフェ in 名古屋を開催しました。スピーカーに中村健治氏（名古屋大学地球水循環研究センター教授）を迎え、「衛星からみる世界の降雨」というテーマで開催しました。参加者は25名でした。
- 3月23日 名古屋地方気象台会議室において臨時常任理事会を開催しました。

議案（2）2011年度（平成23年度）中部支部会計報告

平成23年度収支計算書

（2011年4月1日～2012年3月31日）

単位：円

	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	730,400	730,400	0	注1
公開気象講座補助金	100,000	100,000	0	注2
事業収入			0	
公開気象講座テキスト販売	0	22,500	△ 22,500	全国大会
雑収入				
預金利子（8月、2月）	200	141	59	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	830,600	853,041	△ 22,441	
II 支出の部				
事業活動支出 （事業費支出）				
支部だより	35,000	8,910	26,090	
支部だより印刷費	10,000	0	10,000	
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	25,000	8,910	16,090	
ホームページ運営費	52,000	51,660	340	
サーバー借料	52,000	51,660	340	
公開講座開催費(シンポジウム)	100,000	150,000	△ 50,000	

公開講座会場費	0	0	0	
公開講座運営費	0	0	0	
シンポジウム誌印刷配布	100,000	150,000	△ 50,000	支部会員
秋季全国大会開催費	500,000	38,170	461,830	注 3
支部研究会会場費	0	0	0	
支部研究会運営費	0	0	0	
支部研究会講演予稿集印刷費	0	0	0	
全国大会参加旅費補助	500,000	38,170	461,830	振り込み手数料含む
(管理費支出)				
総会・理事会費	53,000	52,420	580	
総会資料印刷費 (往復はがき)	10,000	9,000	1,000	総会ハガキ
理事会開催費	3,000	2,200	800	
理事会交通費	40,000	41,220	△ 1,220	会計監査含む
役員選挙費	0	0	0	
選挙公報・投票用紙印刷費	0	0	0	
選挙管理委員会費	0	0	0	
事務費	38,000	18,332	19,668	
通信運搬費	8,000	5,890	2,110	旅費補助案内
消耗品費	20,000	12,442	7,558	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	10,000	0	10,000	
事業活動支出計 (2)	778,000	319,492		
Ⅲ 予備費	52,600	0	0	
予備費支出計 (3)	0	0	0	
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	52,600	533,549	0	
前期繰越収支差額 (B)	19,122	19,122	0	
次期繰越収支差額 (A)+(B)	71,722	552,671	0	

注 1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割 @1,200X317=380,400 と均等割り 350,000 円の和で計上 (予算計上は 317 名)

注 2：本部からの夏季公開気象講座としての補助金

注 3：昨年度、公開講座や支部研究会の開催、全国大会への参加支援として予算案を作成したが、公開講座と支部研究会の開催中止、全国大会の参加支援の申請が少なかったため差額が大きくなった。

平成 23 年度支部強化基金 収支決算書

(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

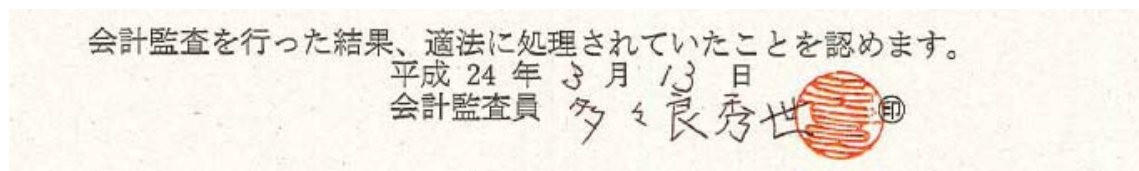
単位:円

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	141,000	141,000	0
地区研究会等への支援	55,000	55,000	0
サイエンスカフェ	86,000	86,000	0
事業活動収入計 (1)	141,000	141,000	0

Ⅱ 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	55,000	0	55,000
交通費	40,000	0	
宿泊費	15,000	0	
サイエンスカフェ (3回開催)	86,000	52,515	33,485
1) 愛知県内 (名古屋市) 2回	46,000	28,500	17,500
チラシ・資料印刷	6,000	3,920	2,080
講師謝金(8/17、2/8)	20,000	20,000	0
講師交通費 (準備等)	20,000	4,580	15,420
2) 中部支部内 (金沢市)	40,000	24,015	15,985
チラシ・資料印刷	3,000	0	3,000
講師謝金	10,000	10,000	0
講師交通費 (準備・振込含む)	27,000	14,015	12,985
事業活動支出計 (2)	141,000	52,515	88,485
Ⅲ 予備費支出			
予備費支出計 (3)	0	0	0
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	0	88,485	0
本部へ返納	0	-88,485	0

議案 (3) 2011 年度 (平成 23 年度) 中部支部会計監査報告

2011 年度中部支部会計報告について、多々良会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。



議案 (4) 2012 年度 (平成 24 年度) 中部支部事業計画案

- 5 月 10 日 名古屋大学地球水循環研究センター会議室において、常任理事会が開催されました。
- 5 月 23 日 支部だより第 73 号 (本号) を発行します。
- 6 月 25 日 中部支部第 20 期役員選挙を実施します。
- 7 月 24 日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催します。
- 8 月 31 日 第 17 回公開気象講座を開催します。
- 11 月 支部だより第 74 号を発行します。中部支部総会の報告、中部支部第 20 期役員選挙の結果報告、公開気象講座の報告、支部研究会の開催案内とプログラム等を掲載する予定です。
- 11 月 平成 24 年度支部研究会を開催します。
- その他 サイエンスカフェを開催します。

議案 (5) 2012 年度 (平成 24 年度) 中部支部予算案

平成 24 年度収支予算書 (案)

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

単位：円

	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	730,400	730,400	0	注 1
公開講座補助金	100,000	100,000	0	注 2
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	30,000	0	30,000	注 3
雑収入				
預金利子	200	200	0	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	860,600	830,600	30,000	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	75,000	35,000	40,000	
支部だより印刷費	50,000	10,000	40,000	注 4
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	25,000	25,000	0	
ホームページ運営費	52,000	52,000	0	
サーバー借料	52,000	52,000	0	
公開講座開催費(シンポジウム)	200,000	100,000	100,000	
公開講座会場費	30,000	0	30,000	
公開講座運営費(印刷費含む)	100,000	0	100,000	注 5
公開講座講師謝金・旅費	70,000	0	70,000	
シンポジウム参加・旅費	0	100,000	△ 100,000	
支部研究会開催費	550,000	500,000	50,000	注 6
支部研究会会場費	30,000	0	30,000	
支部研究会運営費	90,000	0	90,000	
支部研究会講演予稿集印刷費	230,000	0	230,000	
支部研究会参加旅費	200,000	400,000	-200,000	
その他事業費	0	100,000	-100,000	
(管理費支出)				
総会・理事会費	53,000	53,000	0	
総会資料印刷費(往復はがき)	10,000	10,000	0	
理事会開催費	3,000	3,000	0	
理事会交通費	40,000	40,000	0	
役員選挙費	30,000	0	30,000	注 7
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	27,000	0	27,000	
選挙管理委員会費	3,000	0	3,000	
事務費	30,000	38,000	-8,000	

通信運搬費	10,000	8,000	2,000	
消耗品費	15,000	20,000	-5,000	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	5,000	10,000	-5,000	注 8
事業活動支出計 (2)	990,000	778,000	212,000	
Ⅲ 予備費	995,000	52,600	942,400	
予備費支出計 (3)	0	0	0	
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	-129,400	52,600		
前期繰越収支差額 (B)	552,671	19,122		
次期繰越収支差額 (A)+(B)	423,271	71,722		

注 1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200X317=38,0400 と均等割り 350000 円の和で計上（予算計上は 317 名）

注 2：本部からの夏季公開気象講座としての補助金

注 3：23 年度未実施、24 年度実施予定で増額

注 4：プリンター印刷から業者印刷で増額

注 5：プリンター印刷から業者印刷で増額

注 6：名古屋近隣での開催を想定で計上

注 7：役員選挙ありで増額

注 8：プリンター修理費等で計上

平成 24 年度支部強化基金 収支予算書（案）

（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）

単位：円

	予算額	前年度予算額	増減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	152,000	141,000	11,000
地区研究会等への支援	50,000	55,000	△ 5,000
サイエンスカフェ	102,000	86,000	16,000
事業活動収入計 (1)	152,000	141,000	11,000
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	50,000	55,000	△ 5,000
交通費	40,000	40,000	0
宿泊費	10,000	15,000	△ 5,000
サイエンスカフェ（3 回開催）	102,000	86,000	16,000
1) 愛知県内 (2 回)	36,000	46,000	△ 10,000
チラシ・資料印刷	6,000	6,000	0
講師謝金	20,000	20,000	0
講師交通費	10,000	20,000	△ 10,000
2) 中部支部内 (2 回)	66,000	40,000	26,000
チラシ・資料印刷	6,000	3,000	3,000
講師謝金	20,000	10,000	10,000
講師交通費	40,000	27,000	13,000
事業活動支出計 (2)	152,000	141,000	11,000

Ⅲ 予備費支出			
予備費支出計 (3)	0	0	0
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0

◆ 中部支部第 19 期役員 の 補充

平成 24 年 (2012 年) 4 月 1 日付けの人事異動により、高瀬邦夫理事 (全国理事・中部支部長)、辻村 豊理事 (東海地区)、八尾 孝理事 (長野・静岡地区) がそれぞれの地区から転出し役員を失格しました。このため日本気象学会中部支部選挙細則第 4 条の規定に従い、全国理事・支部長の後任として神田 豊会員、東海地区理事の後任として小林俊彦会員と高橋俊二会員を第 19 期理事 (任期はいずれも 2012 年 6 月 30 日まで) に委嘱しました。

	新	旧
全国理事・中部支部長	神田 豊 (名古屋地方気象台)	高瀬邦夫 (名古屋地方気象台)
東海地区常任理事	小林俊彦 (岐阜地方気象台)	辻村 豊 (岐阜地方気象台)
長野・静岡地区理事	高橋俊二 (長野地方気象台)	八尾 孝 (長野地方気象台)

また、高井元治幹事が平成 24 年 4 月 1 日付けの人事異動により転出したため、奥 清治会員が幹事に就任しました。

	新	旧
幹事	奥 清治 (名古屋地方気象台)	高井元治 (名古屋地方気象台)

◆ 中部支部第 20 期役員選挙の告示

第 19 期役員 の 任期が 2012 年 6 月 30 日で満了となりますので、中部支部規約及び中部支部役員選挙細則に基づいて、次期 (第 20 期) 役員選挙を以下の要領で実施します。

1. 選出する役員 (注)

- 東海地区理事 6 名
- 北陸地区理事 1 名
- 長野・静岡地区理事 1 名
- 会計監査 1 名

2. 立候補の届出

(1) 候補者の資格

2012 年 5 月 10 日現在、気象学会中部支部通常会員であるとして。

(2) 届出の手続き

立候補する者は立候補届を、候補者を推薦する者は推薦届を選挙管理委員会に請求し、必要事項 (氏名・生年月日・所属機関・役員種別など) をもれなく記入の上、同委員会に届けてください (郵送可)。

(3) 届出の期間

2012年6月4日（月）までに選挙管理委員会（下記）に必着とさせていただきます。

(4) 候補者の資格審査

立候補届出期間終了後、選挙管理委員会において速やかに資格審査を行います。

3. 投票

(1) 有権者資格

2012年5月10日現在、気象学会中部支部通常会員であるとします。

(2) 候補者名簿及び投票用紙

候補者名簿と投票用紙は、立候補者資格審査終了後速やかに作成し、全有権者に郵送する予定です。候補者名簿と投票用紙が2012年6月15日（金）までに届かない有権者は、直ちに選挙管理委員会（下記）まで申し出てください。

(3) 投票期日

2012年6月22日（金）までに投票用紙を選挙委員会までお送りください。必着とさせていただきます。

(4) 投票方法

無記名文書投票を行います。投票方法の詳細は投票用紙とともに郵送いたします。

4. 開票および結果の公示

(1) 開票期日

2012年6月25日（月）10時より名古屋地方気象台会議室で行います。有権者はこの開票に立ち会うことができます。

(2) 当選者及び次点者の順位の決定

細則第3条によるものとします。

(3) 開票結果の公示

開票結果は当日発表し、当選者に通知します。また、支部だより第74号に公示します。

2012年5月20日

日本気象学会中部支部選挙管理委員会
〒464-0039 名古屋市千種区日和町 2-18
名古屋地方気象台気付
（委員長） 川端 昇
（委員） 由比 栄造、岡田 京

◆ 第17回公開気象講座のお知らせ

公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるものです。これまで夏季大学を含めて16回開催されています。今年は「大気中の微粒子（エアロゾル）が気候に及ぼす影響」というテーマで、エアロゾルとはどういうものか、気候にどのような影響を及ぼすのか、また、今後どのように変化していくのか等を取り上げ、8月31日（火）に名古屋大学 ES ホールで開催する予定です。詳細が決まり次第、中部支部会員の皆様への開催案内の配布などを通じて、お知らせしていく予定です。

◆ 平成 24 年度支部研究会のお知らせ

最近の気象学会全国大会では、講演数の増加にともなって、発表時間を十分に取ることができなくなってきています。支部研究会では、各講演の発表時間をできるだけ長く取ることによって、会員の皆様の間で深い議論を行うとともに、会員の皆様の間での情報交換や交流の場を提供したいと考えています。今年度は 11 月に名古屋周辺での開催を計画しています。具体的な日程や講演の募集などは、8 月頃にお知らせしたいと考えています。

◆ 2011 年度気象学会秋季全国大会(名古屋)の報告

2011 年 11 月 16 日～18 日に 2011 年度気象学会秋季全国大会が名古屋大学（名古屋市）にて開催されました。本大会は中部支部が会場運営を担当しました。大会参加者は 859 名（講演 A：313 名、講演 B：147 名、聴講（事前）：112 名、聴講（当日）：287 名。公開シンポジウムのみ参加と会場スタッフ除く）で、発表件数は 501 件（口頭発表：312、ポスター：189）の盛会となりました。

企画などの問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学地球水循環研究センター

藤波初木

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436

E-mail：hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp